

生体調節研究所

最先端生命科学セミナー

担当学部等 生体調節研究所

担当者 原 太一 准教授 他

◎事業概要

本事業では、前橋女子高等学校(平成25年度より、文部科学省のスーパーサイエンスハイスクールSSH指定校となった)の生徒10名程度を当研究所に招き(理科に興味を持つ生徒の中から参加者を募集)、教授陣による最先端の生命科学に関する講義と研究施設・実験現場の見学を実施するものである。

また、「研究者になるための道のり」に関する解説や、当研究所の女性研究者による女子生徒へのアドバイス講演を行う。

さらに、生命科学や生命科学に関する様々な疑問への質疑応答を行うものである。

なお、本事業は、研究所中期目標・中期計画にも記載されている。

◎実施事業等

平成26年度 最先端生命科学セミナーは、平成27年2月28日(土)午後1時より午後4時30分頃まで、以下のプログラムで開催をした。

- ・進行:佐々木努 准教授
- ・所長挨拶(岡島史和 教授)
- ・セミナー1「ホルモンとは何か？」(演者:小林雅樹 助教)
- ・施設見学会1「ホルンを分泌する細胞を観察する」(担当:橋本博美 助手)
- ・施設見学会2「ホルンの作用を調べる」(小林雅樹 助教)
- ・セミナー2「研究にかかわるにはどうしたらよいのか？」&「女性研究者からのアドバイス」(演者:原太一 准教授、橋本博美 助手、青木悠 助教)
- ・質疑応答・アンケート記入
- ・前橋女子高校生徒代表挨拶
- ・副所長挨拶(泉哲郎 教授)

イベントに参加した生徒(当日参加者11名)は非常に熱心で、セミナー、施設見学共に好評であった。(参考資料として、イベントプログラムと当日の写真を添付します)

◎期待される成果

前橋女子高等学校は、平成25年度文部科学省のSSH指定校になり、理科教育に力を注いでいる。

群馬大学周辺の高校においては、理科教育向上を目指しており、それに寄与するシステム/イベントに対する大きなニーズがある。そういった状況の中で、当研究所が地域の高校生に対して(教科書には記載されていないような)最先端の生命科学に関する講義と助言を行い(ソフトを提供)、実際の研究現場(ハード)を見学してもらう意義は大きく、地域社会に対する貢献度は高い。

今後も同様のイベントを継続しながら、前橋女子高校以外の高校に対しても参加を呼びかけて行く予定である。